

第2期愛知県生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について  
生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、平成30年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		策定時の現況		目標		30年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成 状況																			
		年度	数値	年度	数値																							
1 長寿社会を豊かに生きる生涯学習																												
(1)	「自分にはよいところがあるとおもいますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒割合	28	小 76.3% 中 69.8%	毎年度	前回調査を上回る	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>年度</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合</td> <td>H30</td> <td>84.4%</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>77.9%</td> <td>70.7%</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	年度	小学校	中学校	全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	H30	84.4%	80.3%	H29	77.9%	70.7%	教育委員会	○									
	項 目	年度	小学校	中学校																								
全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	H30	84.4%	80.3%																									
	H29	77.9%	70.7%																									
	公立小、中、高等学校におけるスクールソーシャルワーカー（SSW）及びスクールカウンセラー（SC）の配置人数	28	SSW：36人 SC：556人	毎年度	増加	<p>多くの児童生徒が自分のよいところを認めているものの、自己を肯定的に捉えられない子供もいる。魅力ある学校・学級づくりに努めるとともに、授業改善に努め、児童生徒の自己肯定感を高めていくことが課題である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>SSW</th> <th>SC</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>64</td> <td>540</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>47</td> <td>542</td> <td>589</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>17</td> <td>△2</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>SSW:17名増 SC:2名減 計:15名増</p> <p>小中学校では、SSWの配置促進を図るための補助制度を実施しており、毎年、申請する市町村は増加している。SCについては、全校配置をしているが、時間数が十分ではない学校もある。今後も、教育相談体制の一層の充実を図るため、国からの財政支援が拡充されるよう、働きかけを継続していく必要がある。</p> <p>高等学校においては、中退防止や貧困等の家庭問題等に対応し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、引き続き適切な配置に努めていく必要がある。</p>	(単位：人)				年度	SSW	SC	計	H30	64	540	604	H29	47	542	589	増減	17	△2	15	教育委員会	○
(単位：人)																												
年度	SSW	SC	計																									
H30	64	540	604																									
H29	47	542	589																									
増減	17	△2	15																									
(2)	健康的な生活習慣を送る者の増加	28	63.2% (40～64歳)	R4	80%以上	- (次回調査は令和3年度)	「健康的な生活習慣を送っていると思う者」の割合を年齢区分別に見ると、20～64歳の「働く世代」の割合が、他の世代よりも低い状況であるため、働く世代に対して健康づくりの取組の重要性や健康的な生活習慣について普及啓発していくとともに、健康づくりや生活習慣の改善に取り組みやすい体制の整備を、関係機関等と連携しながら推進していく。	保健医療局	その他																			
(3)	愛知芸術文化センター（栄施設）の年間来館者数	28	215万人	毎年度	200万人	55万人 (198万人)	美術館、芸術劇場を有する複合施設であり、愛知県における文化施策を展開する拠点施設として、芸術創造・文化情報発信の強化や、多様な鑑賞機会及び文化芸術活動場所の提供を通じて、利用者のサービスの向上を図る。	県民文化局	×																			
(4)	あいちシルバーカレッジの年間受講者数	29	600人	毎年度	630人 (600人)	630人	平成30年度から定員数を増やし、年間受講者数が600名から630名となった。しかしながら、2019年度の応募状況を見ると、倍率が最大で2.6倍のクラスが生じているため、より多くの者に学ぶ機会を提供できるよう、委託先の愛知県社会福祉協議会と、定員増のための会場の選定や、公平性の高い抽選方法についての検討などを実施していく必要がある。	福祉局	○																			

## 第2期愛知県生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、平成30年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		策定時の現況		目標		30年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成 状況
		年度	数値	年度	数値				
<b>2 家庭と地域の教育力を高める生涯学習</b>									
(1)	相談活動により状況が好転した児童生徒数の割合	28	86.3%	毎年度	75%以上	82.5% (80.4%)	相談者の多くが重篤なケースであるため、対応する相談員への研修や相談員間での情報交換に努めるとともに、学校や関係機関と連携を図りながら、様々なケースに対応できるようにしていく必要がある。	教育委員会	○
(2)	地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るための研修会の参加人数	29	123人	毎年度	130人以上	155人 (123人)	参加者にとって有益な研修を継続的に実施し推進員等の資質向上を図るとともに、参加者を広く募り、地域と学校の連携・協働を推進する人材の発掘及び育成に努める必要がある。	教育委員会	○
(3)	子ども・若者支援地域協議会を利用できる子ども・若者の割合	29	57.5%	毎年度	70%以上	61.5% (57.5%)	各市町村の課題状況は多様で、地域資源や協議会の必要性への認識に差があることなどから、協議会の設置は容易ではない。 今後も、子ども・若者の行政分野を越えた総合支援の重要性を広く訴え、各市町村が実情に応じて取り組めるように情報提供や支援を行い、協議会設置に向けて働きかけをしていく必要がある。	県民文化局	×
(4)	家族や友人と一緒に楽しく食事をする人の割合(1日最低1食、家族や友人と一緒に楽しく30分以上かけて食事をする人の割合)	27	77.4%	R2	80%以上	71.70%	食を通じて豊かな心を育むために、家庭団らんの大切さ、家族や友人と食事をとることの呼びかけ等に取り組み、県民が食を楽しむゆとりを確保できる環境づくりを継続的に行うことが必要である。	農業水産局	その他
<b>3 持続可能な社会づくりを進める生涯学習</b>									
(1)	ユネスコスクール交流会におけるアンケートで、交流会が参考になったと回答した人の割合	29	72.6%	毎年度	80%以上	94.3% (72.6%)	ユネスコスクール交流会の参加者数の増加を目指すとともに、ユネスコスクールの活動を活性化していくために、管理職や各校のESD推進の要となる方に対しての意識啓発を実施する。	教育委員会	○
(2)	あいち環境塾(基礎コース)の参加人数	29	20人	毎年度	20人	20人 (20人)	目標を達成しているが、引き続き毎年20名の参加者を確保するため、効果的な広報を適切に行うとともに、参加者にとって魅力的な内容となるよう塾のカリキュラムを見直して検討していく必要がある。	環境局	○
(3)	消防学校1日体験入校者数	29	1,257人	毎年度	1,500人程度	1,216人 (1,257人)	消防学校一日入校や防火作品募集などの各種行事を行い、参加を呼びかけるなどし、引き続きクラブ活動への積極的な支援を行っていく。	防災安全局	×

第2期愛知県生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、平成30年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		策定時の現況		目標		30年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成 状況
		年度	数値	年度	数値				
(3)	指導者向け消費者教育講座の受講者数	28	1,015人	毎年度	1,000人	1,178人 (1,050人)	引き続き、目標を達成できるよう、関係機関と連携を図り、周知に努めていく必要がある。	県民文化局	○
	あいち消費生活情報メールマガジンの登録件数	-	-	R元	1,500人	494件 (314件)	目標達成に向け、今後も引き続き、消費者市民講座など、様々な機会を捉えて、登録を呼びかけていく必要がある。	県民文化局	その他
(4)	人権啓発イベントの参加により、人権を尊重するきっかけとなったと思う人の割合	28	94.3%	毎年度	90%以上	95.67% (94.39%)	目標を達成することができたが、引き続き、多くの県民が参加し人権尊重への意識を啓発できるよう、イベントの周知を図る必要がある。	県民文化局	○
(5)	「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の賛同事業所数	29	40,185 事業所	毎年度	40,000 事業所	42,694事業所 (40,185事業所)	目標を達成しているものの、社会の意識醸成を図るため、更なる賛同事業所の増加を目指す必要がある。	労働局	○
	管理的職業従事者に占める女性の割合	24	12.3%	R2	20%	13.5% (平成29年度 直近の数値)	愛知県は、全国平均より低いという結果が出ているため、主要産業である製造業を始め、あらゆる分野で女性管理職の育成を図る必要がある。	県民文化局	その他
(6)	手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成数	28	33人、29 人、37人	毎年度	各40人	26人、12人、5人 (18人、29人、19人)	障害の特性に応じたコミュニケーション手段を利用した意思疎通を支援する手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成に引き続き努める必要がある。	福祉局	×
(7)	地域における初期日本語教育の実施	-	-	R4	3箇所	1箇所	初期日本語教室を各地域で実施できるようにするために、初期日本語教育を行うためのマニュアルを作成するとともに、指導者の育成が課題である。	県民文化局	その他
	初期の日本語指導や学校適応指導を行う教室(プレスクール)実施市町村数	29	16市町村	R4	増加	15市町村 (16市町村)	プレスクールの重要性を市町村の担当者に伝え、拡充できるよう努めるとともに、現在実施している市町に対して、継続的に実施できるような支援を検討する必要がある。	県民文化局	その他
(8)	技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの来場者数	26	289,000人	R元、R2	各年 200,000人	- (令和元年度、令 和2年度開催のため)	-	労働局	その他

第2期愛知県生涯学習推進計画における個別目標の達成状況について

生涯学習推進計画において記載している個別目標(28目標)について、平成30年度実績における達成状況を記載

体系別/項目名		策定時の現況		目標		30年度の状況 (前年度)	引き続き努めていくべき課題	所管局	達成 状況
		年度	数値	年度	数値				
4 職業的自立を高める生涯学習									
(1)	全日制県立高等学校におけるインターンシップ等に参加した生徒数	28	17,323人	R2	18,000人	20,279人 (18,243人)	普通科においてインターンシップ等の体験活動の充実が課題となっていることから、「総合的な探究(学習)の時間」等を活用し、キャリア教育を推進する。	教育委員会	その他
(2)	愛知県職業能力開発協会が行う訓練の受講生数	28	1,686人	毎年度	1,600人	1,584人 (1,678人)	今年度は講習会数を増やすなどにより、目標達成に努める。	労働局	×
(3)	大学等高等教育機関における公開講座の開催数	28	2,965講座	毎年度	前年度を上回る	3,112講座 (3,004講座)	公開講座の開催数は増加傾向にあるが、機関同士の情報交換の場を設けることでより一層取り組みやすい環境づくりを整備するなど、引き続き働きかける必要がある。	教育委員会	○
5 生涯学習推進体制づくり									
(2)	生涯学習情報システム「学びネットあいち」トップページのアクセス件数	28	102,499件	毎年度	前年度を上回る	142,405件 (111,801件)	引き続き、県民の高度かつ多様化する学習ニーズに対応するため、常に魅力的な学習コンテンツや学習情報を提供する。	教育委員会	○
	生涯学習情報システム「学びネットあいち」新規登録情報提供機関数	28	20機関	毎年度	24機関	19機関 (14機関)	生涯学習情報の提供は県の重要な役割であることを再認識し、新たな情報提供機関の深耕に努めていく必要がある。	教育委員会	×
(3)	公民館主事等社会教育担当者研修会の参加者の満足度	29	94%	毎年度	95%以上	92% (94%)	参加者にとって、より有用な研修となるよう講座を工夫し、目標を達成できるよう努めていく。	教育委員会	×
(4)	地域指導者の養成数	28	208人	毎年度	前年度を上回る	286人 (305人)	人材の養成は県の重要な役割の一つであり、社会の状況に応じて、必要な人材を養成するための研修を継続的に実施していく必要がある。	教育委員会	×

※ この表の番号は、第2期愛知県生涯学習推進計画の第3章に示した県の生涯学習推進施策の五つの基本的な柱及びその柱に付随する施策の展開の方向の番号に対応します。

※ 達成状況の「その他」は、目標年度前の個別目標です。

達成	12
未達成	8
その他	8
計	28
達成率(その他除く)	60%